

3.8国際女性デーフォーラム



「歴史的な性差別から女性が立ち上がる日」 ～構成組織と各地区連合から約130名が出席～

連合福島男女平等推進委員会主催による「3.8国際女性デーフォーラム」は3月7日(土)福島市の杉妻会館において、県内各構成組織と地域・地区連合から約130名が参加し開催された。

冒頭、横山まゆみ代表幹事は「3.8国際女性デーは歴史的な性差別から女性が立ち上がる日であり、国際的にも3月8日は尊厳の日として位置付けられており、働く女性の権利に関するキャンペーンの一環として行動すると同時に、男女平等推進委員会として、女性の参画割合のアップや継続的な運動に取り組んでいきたい。」と挨拶し、開催趣旨への理解と協力を求めた。



講演される藤野美都子福島医科大学教授
組みも重要な位置づけとし積極的に推進したい。」と、激励と連帯の挨拶を受けた。

その後第1部の講演として、福島県立医科大学医学部教授の藤野美都子氏より「均等法30年、女性差別撤廃条約30年～みんなで考えるワーク・ライフ・バランス」と題して、ご自分の経験談を交えながら、国際社会の中の日本は、様々な指標から女性の社会進出が遅れている事に焦点を

引き続き、連合福島加藤光一事務局長から「2015春季生活闘争の中においても、性差別、格差是正を目指す闘いとして、男女平等実現への取

あてて、有意義な話をお聞かせ頂いた。

第2部では、かつてNHKのドキュメンタリー番組のプロジェクトXから「女たちの10年戦争」と題した映像が上映された。「男女雇用機会均等法」が成立するまでの女性たちの苦悩と挑戦と葛藤の裏舞台を映像から知ること、多くの参加者の感動を呼んでいた。

最後に、集会アピールを佐藤彩加幹事が提案して、会場全員の拍手で採択され、国際女性デーフォーラムは閉会となった。



主催者代表挨拶をする横山まゆみ代表幹事



連帯の挨拶をする加藤光一事務局長



真剣に傾聴する参加者の皆さん